



## 2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年11月11日  
東

上場会社名 アース製薬株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4985 URL <https://corp.earth.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (兼) (氏名) 川端 克宜  
 グループ各社取締役会長  
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 (氏名) 郷司 功 (TEL) 03-5207-7458  
 経営戦略本部本部長  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年12月期第3四半期の連結業績(2024年1月1日~2024年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	134,858	6.4	10,685	15.9	11,045	11.1	7,236	12.2
2023年12月期第3四半期	126,769	1.9	9,217	△23.3	9,944	△22.9	6,448	△25.3

(注) 包括利益 2024年12月期第3四半期 8,211百万円(2.6%) 2023年12月期第3四半期 8,006百万円(△19.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	328.66	—
2023年12月期第3四半期	291.76	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	141,491	75,704	49.6
2023年12月期	132,407	72,000	50.3

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 70,113百万円 2023年12月期 66,546百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	118.00	118.00
2024年12月期	—	0.00	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	—	—	120.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	168,000	6.1	6,000	△5.8	6,550	△3.5	3,300	△19.6	150.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年12月期3Q	22,209,900株	2023年12月期	22,141,100株
2024年12月期3Q	432,270株	2023年12月期	14,296株
2024年12月期3Q	22,018,446株	2023年12月期3Q	22,101,526株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断した一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.4「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び説明内容の入手方法)

・当社は2024年11月11日(月)に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料については、11月11日(月)にT D n e t及び当社ウェブサイトに掲載するほか、説明会の説明内容については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2024年1月1日から2024年9月30日まで)におけるわが国の経済について、物価の上昇や不安定な為替、金融政策の見直しなどにより依然として経済の先行きは不透明な状況が続いています。

こうした状況の中、当社グループは「グループの総力、アースの明日へ」をスローガンに掲げ、2026年度までの中期経営計画「Act For SMILE COMPASS 2026」に沿って経営を進めています。

本計画では、利益、キャッシュ・フローの創出(収益力の向上)を最優先課題として国内の構造改革及び日用品のブランド力向上により収益力の強化を図るとともに、現地法人を通じたアジア市場での展開及び中東などへの輸出事業を成長ドライバーと捉え、海外売上高の拡大を目指してまいります。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績については、家庭用品事業では入浴剤は依然として厳しい競争環境が続き、売上が減少しました。しかし、国内の良好な気象条件を背景に虫ケア用品の売上が好調に推移しました。また、海外事業及び総合環境衛生事業も引き続き伸長し、売上高は1,348億58百万円(前年同期比6.4%増)となりました。利益面では原材料価格高騰の影響が長引いていることに加え、人件費や広告宣伝費の増加はありましたが、増収に伴う売上総利益の増加により、営業利益106億85百万円(前年同期比15.9%増)、経常利益110億45百万円(前年同期比11.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益72億36百万円(前年同期比12.2%増)となりました。

セグメントの業績の概要は次のとおりであります。

## 【家庭用品事業】

家庭用品事業においては、中期経営計画に基づいた収益構造改革を行うべく、収益性と将来性を軸にしたブランド・SKUの選択と集中の推進、ブランド強化と市場拡大を目指した施策を進めています。また、海外においては、ASEAN・中国での積極展開と輸出事業の拡大に取り組んでいます。

当第3四半期連結累計期間における当事業の業績については、入浴剤は厳しい競争環境が続きましたが、虫ケア用品の新製品の売上寄与や価格改定施策効果の顕在化、ASEAN・中国、輸出事業の売上増加などがあり、売上高は1,198億42百万円(前年同期比6.4%増)となりました。利益面では、前期から継続している原材料価格などの高騰の影響や広告宣伝費の増加などがあったものの、増収に伴う売上総利益の増加が寄与し、セグメント利益(営業利益)は91億41百万円(前年同期比20.5%増)となりました。

(家庭用品事業の業績)

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	増減率
虫ケア用品部門	57,248	62,827	5,578	9.7%
日用品部門	47,965	48,156	190	0.4%
口腔衛生用品	5,799	6,008	209	3.6%
入浴剤	17,035	15,929	△1,105	△6.5%
その他日用品	25,130	26,217	1,087	4.3%
ペット用品・その他部門	7,414	8,859	1,445	19.5%
売上高合計	112,628	119,842	7,214	6.4%
セグメント利益(営業利益)	7,586	9,141	1,555	20.5%

(注) 売上高にはセグメント間及びセグメント内の内部売上高又は振替高が含まれており、金額は前第3四半期連結累計期間では7,727百万円、当第3四半期連結累計期間では9,010百万円です。

部門別の主な状況は次のとおりであります。

#### 虫ケア用品部門

国内においては、年初からの好天が7月以降も継続したことに加え、昨年同様に残暑が長期にわたり続き、市場は拡大しました。市場の伸長に伴い、ゴキブリ用、ダニを含む不快害虫用、虫よけ等の出荷が順調に推移しており、当期の新製品『ゴキッシュ スッ、スゴい!』、『ゼロノナイト ゴキブリ・トコジラミ用1プッシュ式スプレー』の販売も順調に推移しました。また、価格改定施策の効果もあり、売上に寄与しました。

海外においては、ASEANや輸出事業の伸長の他、中国においてオフラインへの展開強化に戦略転換した効果もあり、売上成長に寄与しました。

以上の結果、当部門の売上高は628億27百万円（前年同期比9.7%増）となりました。

#### 日用品部門

口腔衛生用品分野においては、厳しい競争環境が続いている中で、主力の洗口液『モンダミン プレミアムケア』等が低調な推移となりました。一方で、若年層にターゲットを絞った秋季新製品である『ダモン』の計画通りの出荷などにより、売上高は60億8百万円（前年同期比3.6%増）となりました。

入浴剤分野においては、パッケージのリニューアルや新製品『温泡 デカまる』の投入により錠剤タイプの出荷は順調に推移しています。その一方で、粉末タイプ『バスロマン』、粒剤タイプ『きき湯』等は低調な状況が続き、売上高は159億29百万円（前年同期比6.5%減）となりました。

その他日用品分野においては、猛暑対策を目的としたシャツミストやネッククーラー等の冷却剤、女性用マスク、エアコン洗浄剤の売上が伸長した他、ベトナムで取り扱う住居用洗剤の売上が拡大し、売上高は262億17百万円（前年同期比4.3%増）となりました。

以上の結果、当部門の売上高は481億56百万円（前年同期比0.4%増）となりました。

#### ペット用品・その他部門

ペット用品分野においては、飼い主のペットに対する健康意識の高まりやペットの住環境の充実等を受け、一頭あたりにかける費用は増加傾向にあり、ペット関連市場は好調を維持しています。こうした状況下、猫砂等のケア用品や機能性フード等の売上が伸びたことにより、売上高は88億59百万円（前年同期比19.5%増）となりました。

#### [総合環境衛生事業]

総合環境衛生事業におきましては、主要な顧客層である食品関連業界や医薬品関連業界、包材関連業界における食中毒予防対策や異物混入対策などの衛生管理対策が必須となっており、当社グループが専門的な知識や技術、ノウハウをもって提供する高品質の衛生管理サービスへのニーズが高まっている状況です。

このような状況の中、人材育成、業務効率の改善を目的としたシステムの導入・開発など、お客様のニーズに対応できる社内体制構築に向けた投資を積極化するとともに、産学官連携の共同研究も含め、技術開発力の強化により差別化された衛生管理サービスを提供することで、契約の維持・拡大と適正な利益の確保を図りました。その中でも、医薬品業界・再生医療業界へ向けた種々の取り組み、食品安全マネジメントに関する監査・コンサルタント業務の強化を継続した成果もあり、年間契約件数が順調に増加しました。

当第3四半期連結累計期間における当事業の業績については、契約件数と契約金額の順調な増加により、売上高は241億72百万円（前年同期比9.9%増）となりました。利益面では、主な契約形態である年間契約やスポット契約における原価率の上昇による影響などがあつたものの、増収に伴う売上総利益の増加により、セグメント利益(営業利益)は14億78百万円（前年同期比13.3%増）となりました。

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	21,992	24,172	2,179	9.9%
セグメント利益(営業利益)	1,304	1,478	173	13.3%

(注) 売上高にはセグメント間及びセグメント内の内部売上高又は振替高が含まれており、金額は前第3四半期連結累計期間では123百万円、当第3四半期連結累計期間では145百万円です。

## (2) 財政状態に関する説明

### (1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて90億84百万円増加し、1,414億91百万円となりました。これは主に、その他の無形固定資産が減少したものの、現金及び預金、売上債権、機械装置及び運搬具、ソフトウェア、繰延税金資産が増加したことによるものです。なお、その他の無形固定資産とソフトウェアの増減要因は、刷新した基幹システムの稼働開始に伴い、その他の無形固定資産としていたソフトウェア仮勘定からソフトウェアに振り替えたことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて53億80百万円増加し、657億87百万円となりました。これは主に、短期借入金、未払金が減少したものの、仕入債務、未払法人税等、返金負債、その他流動負債が増加したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて37億4百万円増加し、757億4百万円となりました。これは主に、自己株式の取得により減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などにより利益剰余金が増加したことによるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて0.7ポイント低下し、49.6%となりました。

### (2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しておりませんので、記載を省略しております。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績等の動向を踏まえ、2024年2月13日に公表した通期の連結業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日(2024年11月11日)公表の「2024年12月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、本業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、様々な要因の変化により実際の業績とは大きく異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	17,505	20,790
受取手形及び売掛金	23,573	24,924
電子記録債権	2,066	3,945
商品及び製品	21,313	22,658
仕掛品	820	919
原材料及び貯蔵品	6,133	5,120
その他	2,859	2,887
貸倒引当金	△100	△107
流動資産合計	74,170	81,140
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	32,977	33,464
減価償却累計額及び減損損失累計額	△17,484	△18,135
建物及び構築物（純額）	15,492	15,329
機械装置及び運搬具	18,798	19,894
減価償却累計額及び減損損失累計額	△13,617	△14,309
機械装置及び運搬具（純額）	5,181	5,584
土地	7,838	7,700
リース資産	379	463
減価償却累計額及び減損損失累計額	△188	△241
リース資産（純額）	191	221
建設仮勘定	926	847
その他	10,025	10,498
減価償却累計額及び減損損失累計額	△8,272	△8,636
その他（純額）	1,753	1,862
有形固定資産合計	31,383	31,544
無形固定資産		
商標権	2,411	2,139
ソフトウェア	1,399	3,386
のれん	1,261	1,176
顧客関連資産	1,523	1,362
その他	2,178	378
無形固定資産合計	8,774	8,444
投資その他の資産		
投資有価証券	5,162	5,739
退職給付に係る資産	9,844	10,169
繰延税金資産	753	2,179
その他	2,320	2,275
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	18,079	20,362
固定資産合計	58,237	60,351
資産合計	132,407	141,491

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,484	23,314
電子記録債務	8,520	12,972
短期借入金	10,000	1,000
未払金	6,608	4,133
未払法人税等	1,608	4,352
未払消費税等	713	1,848
賞与引当金	283	1,885
返金負債	1,226	3,768
その他	7,047	9,975
流動負債合計	57,493	63,249
固定負債		
繰延税金負債	1,550	1,270
退職給付に係る負債	382	319
資産除去債務	486	488
その他	494	459
固定負債合計	2,912	2,537
負債合計	60,406	65,787
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,043	10,192
資本剰余金	10,066	10,216
利益剰余金	41,385	46,010
自己株式	△79	△2,080
株主資本合計	61,415	64,340
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,383	1,748
為替換算調整勘定	1,363	1,752
退職給付に係る調整累計額	2,383	2,271
その他の包括利益累計額合計	5,130	5,773
非支配株主持分	5,453	5,591
純資産合計	72,000	75,704
負債純資産合計	132,407	141,491



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年1月1日 至2024年9月30日)
売上高	126,769	134,858
売上原価	74,505	79,122
売上総利益	52,263	55,736
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	5,820	5,923
広告宣伝費	5,567	6,186
販売促進費	832	812
貸倒引当金繰入額	15	2
給料及び手当	12,644	13,006
賞与引当金繰入額	1,291	1,434
旅費及び交通費	1,103	1,162
減価償却費	1,299	1,456
のれん償却額	84	109
地代家賃	1,121	1,146
研究開発費	2,346	2,367
その他	10,918	11,441
販売費及び一般管理費合計	43,046	45,050
営業利益	9,217	10,685
営業外収益		
受取利息	136	142
受取配当金	47	52
為替差益	289	—
受取手数料	18	44
受取家賃	32	46
その他	284	272
営業外収益合計	810	558
営業外費用		
支払利息	28	32
持分法による投資損失	31	—
為替差損	—	122
その他	23	42
営業外費用合計	83	198
経常利益	9,944	11,045
特別利益		
固定資産売却益	2	40
投資有価証券売却益	7	4
特別利益合計	10	44
特別損失		
固定資産売却損	2	15
固定資産除却損	177	21
投資有価証券売却損	7	0
投資有価証券評価損	—	0
関係会社株式評価損	—	15
特別損失合計	186	53
税金等調整前四半期純利益	9,767	11,037
法人税、住民税及び事業税	5,057	5,264
法人税等調整額	△2,038	△1,812
法人税等合計	3,018	3,451
四半期純利益	6,749	7,586
非支配株主に帰属する四半期純利益	301	349
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,448	7,236

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
四半期純利益	6,749	7,586
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	401	362
為替換算調整勘定	1,021	388
退職給付に係る調整額	△166	△125
その他の包括利益合計	1,256	625
四半期包括利益	8,006	8,211
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,691	7,879
非支配株主に係る四半期包括利益	314	332

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年3月8日開催の取締役会決議に基づき、自己株式417,200株の取得を行いました。この結果、単元未満株式の買取による変動なども含め、当第3四半期連結累計期間において自己株式が2,000百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が2,080百万円となっております。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	家庭用品事業	総合環境 衛生事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	104,900	21,868	126,769	—	126,769
セグメント間の内部 売上高又は振替高 (注) 1	7,727	123	7,851	△7,851	—
計	112,628	21,992	134,620	△7,851	126,769
セグメント利益	7,586	1,304	8,891	326	9,217

(注) 1. 報告セグメント内の内部取引を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額326百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	家庭用品事業	総合環境 衛生事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	110,832	24,026	134,858	—	134,858
セグメント間の内部 売上高又は振替高 (注) 1	9,010	145	9,156	△9,156	—
計	119,842	24,172	144,015	△9,156	134,858
セグメント利益	9,141	1,478	10,620	65	10,685

(注) 1. 報告セグメント内の内部取引を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額65百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	3,051百万円	3,259百万円
のれんの償却額	84百万円	109百万円